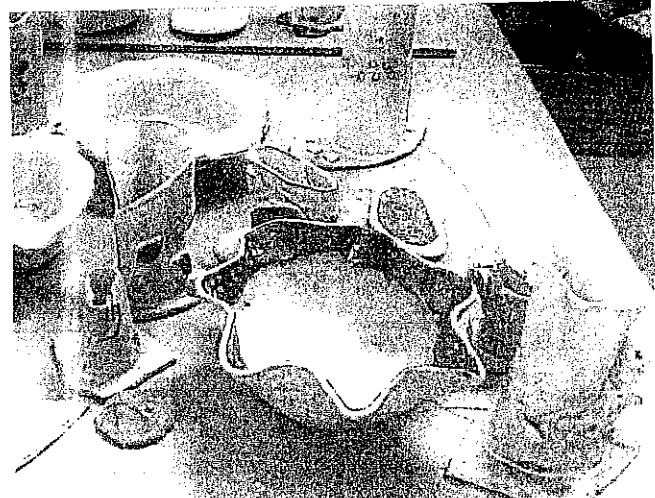
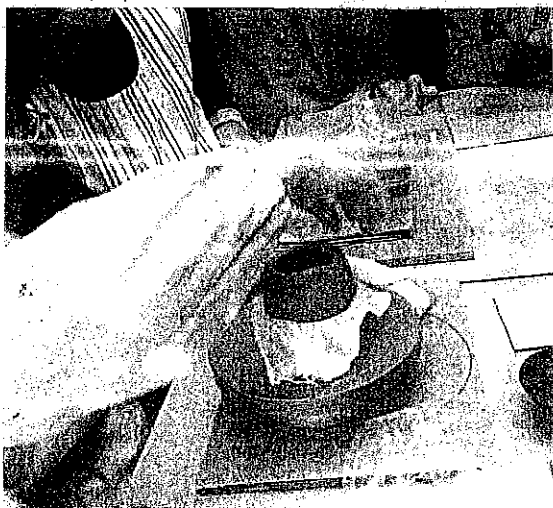


平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会—未来		
事業費	125,000円	補助金額	62,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>粘土をこねて作品を作る作業が、子どもたちを楽しませ、親子のコミュニケーションにもなり、楽しい時間を過ごして欲しい。 なかなか理解されにくい発達障害児とその家族を支援する目的で継続して行うことがより良いと考え三年目を迎えた。</p>
	<p>内容</p> <p>幼児から中学生までの子どもが親子で参加し、講師の指導のもとに直接粘土のふれ、その心地よさを味わい、想像力を養う。</p>

事業の活動実績	<p><第1回> H24, 6, 3</p> <p>午前の部：7家族14名参加 午後の部：11家族22名参加</p> <p>板状に伸ばした粘土を、好きな形の器（丸、または長方形）にあてて形を整える。そこに、外で拾った葉っぱや、好みの形の紙をおいて、その上からブラッシングで色付けをする。ブラッシングの仕方により個性的な作品に仕上がった。</p>
	<p><第2回> H24, 7, 1</p> <p>午前の部：5家族8名参加 午後の部：9家族21名参加</p> <p>粘土を丸い御団子状にしてから、親指で中心に均等に穴を開けていき側面や底が均等な厚さになるまで指、手全体を器用に使って好みの形の器を作る。持ち手を付けたりしてそれぞれ工夫をこらした。</p>
	<p><第3回> H24, 9, 9</p> <p>午前の部：7家族14名参加 午後の部：8家族17名参加</p> <p>板状に伸ばした粘土をラップの芯などに巻き付け花器を作る。思い思いに、周りに自分の手で捏ねた粘土をくっつけて個性をだした。</p>



事業の成果・効果	<p>子どもたちは、粘土の感触を楽しみ、2時間飽きることなく取り組むことで、落ち着かない子どもに集中力をつける効果ができました。そして、それぞれが自由に作ることで想像力が養われ、やる気を引き出しています。</p> <p>出来上がった器は子どもたちに喜びと達成感をあたえ、おおいに自信につながったと感じています。</p> <p>また、親も陶芸を楽しみながら、周りの親子とのコミュニケーションを楽しみ、子育ての悩みなどを話すことで、心がなごみ、自然に解決されることもあるようです。親子で楽しい時間を共有することが、良い親子関係を育て日々の生活に生かされています。</p> <p>人との繋がりが希薄になっている昨今ですが、当会では、人と人が繋がりを深めて悩みをひとり抱え込まない、安心して子育てができる環境を用意したいと思っています。</p> <p>誰でも楽しめる陶芸は、そのきっかけ作りに十分効果的であると考えて、この事業を続けてきました。より多くのかたに参加を募るよう八王子市広報紙に掲載したり、市民活動支援センターにポスターの掲示を依頼したりすることで、今年度の新しい参加者は13人に上りました。</p> <p>市民企画事業補助金を頂きこのような事業ができたことに大変感謝しています。ありがとうございました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>市民企画事業補助金を頂き、4年間実施してきた事業ですが、講師の先生の都合により、1年間お休みをせざるを得ない状況になりましたが、「親子で楽しむ陶芸教室」は多くの方から支持を得ていたため、また行える方法で検討していく予定です。</p>
---------	---

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	第104回八王子親と子の良い映画を見る会上映会		
団体名	八王子親と子の良い映画を見る会		
事業費	418,760円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

夢と冒険、友情あふれる映画を、親子で楽しく鑑賞してほしい。
テレビ画面ではなく、大きなスクリーンの映像を、大勢で同時に鑑賞することで、作品の感動を共有できる。親子で見ることにより、理解が深められ、親子のコミュニケーションの機会も増やす。

アニメーション映画の上映会
第104回 11ぴきのねこ
第105回 アトム

事業の活動実績	◆第104回上映会 「11ぴきのねこ」
	◆第105回上映会 「アトム」

日時：平成24年9月30日(日)
場所：いちようホール(大ホール)
参加：計470人

日時：平成25年2月9日(土)
場所：いちようホール(大ホール)
参加：計106人

実施にあたっては、より多くの子どもに見てもらうための工夫として、保育園等との連携をとるよう審査委員会から意見が付されたため、市内の保育園・幼稚園や、小学校や学童保育所等へチラシを送付しPRに努めた。その結果、第104回では多くの参加者を得ることができた。また、福島から八王子市へ避難されている方にも招待状を出し、14名の参加を得た。

市民企画事業補助金交付対象事業

第104回 八王子親と子の良い映画を見る会

11ぴきのねこ

9月30日(日) 10:00~11:30

割引券

いちようホール

主催：八王子親と子の良い映画を見る会

市民企画事業補助金交付対象事業

第105回 八王子親と子の良い映画を見る会

アトム

2月9日(土) 2:00~3:35

整理券

いちようホール

主催：八王子親と子の良い映画を見る会

事業の成果・効果	<p>【成果】</p> <p>第104回はPRの効果もあり、ここ数年の開催実績の約2倍の参加があった。 第105回は参加者は少なかったが、小さなお子さんでもよく内容を理解され、「おもしろかった」「よかった」の声を多くいただいた。</p> <p>【効果】</p> <p>大きなスクリーンで大勢の人と、また、家族と一緒に映画を鑑賞することで、感動の共有ができ、親と子のコミュニケーションが図られた。 当団体の上映会は、100回を超える開催の歴史があり、子どものときにこの上映会に見に来られた方が母親となって、そのお子さんを連れて見に来てくださったケースがあり、長く愛着を持っていただけることの有難さや、続けていくことの意義を感じた。</p> <p>【参加者アンケートからの抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれて初めての映画鑑賞を親子で楽しむことができました。 ・アトムの人を愛する気持ちが伝わった。 ・1年生の息子は、(感動して)泣きながら観ていました。感想をゆっくり聞きたいと思います。 ・まだ年少なので、長い時間観られるか心配でしたが、集中してじっと観ていました。アトムの強さと優しさを理解できたようです。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	子どものときに上映会に見に来られた方が母親となって、そのお子さんを連れて見に来てくださったケースが、いずれの回にもあった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関係機関からの支援がある限り上映活動を続けていきたい。 ・作品の選定を慎重に行い、子どもたちに喜ばれるものにしたい。 ・会の活動のPRに、いっそう努力したい。
---------	--

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	楽しい介護予防の音楽セミナー		
団体名	八王子音楽療法研究会		
事業費	600,108 円	補助金額	300,000 円

事業の目的・内容	<p><目的> 八王子市は高齢者が多いと云われます。人口が約 54 万人位の中で 65 才以上が 13 万人位住んでいます。私はこの高齢者の人々に八王子に住む幸せを少しでも感じてほしいと思います。これを補っていくのに、先ず「心と身体の活性化」が必要です。これに「高齢者の音楽療法」を用いて「介護予防の音楽」を目的に活動してきました。まさに「音楽療法」は一つ一つが活性化につながる楽しい手法です。今後もますます励み研究して参りたいと存じます。</p>
	<p><内容> 「楽しい介護予防のセミナー」です。一つ一つの活動の中に、次へのやる気を育てる楽しい技法を研究します。普通のリクレーションとは内容が（見た感じは同じですが）異なります。音楽を医学的に心理学的に福祉学的に解り易く楽しく行います。この様な内容の「講話と実践」です。「実践」は歌、楽器、手話、手遊び、軽いリズム体操、車いす用民謡、ゲーム、トーク等を、施設、病院、地域の集まりにて行いました。依頼の出前も出張もあり、地域活動も楽しいものでした。</p>

月・日	活動内容
4月21日(土)	「介護予防の音楽とは」音楽療法の定義に基づいて講義し、4月の音楽と実践(歌、楽器)を行う。参加者 17 名(うち、新規 2 名)
5月19日(土)	「介護予防の音楽について」どんな事をしたらよいか、グループにて話し合い実践する。リーフレットの説明をする。参加者 22 名(うち、新規 6 名)
6月16日(土)	「役割」について講義し、「方法、内容」を話し合う。参加者 16 名(うち、新規 3 名)
7月21日(土)	実習のための「指導案作成(導入、展開、終末)」を実践を交えて各自作る。参加者 24 名(うち、新規 7 名)
8月5日(土)	「夏期講習会」を桜林音楽療法研究会にて行う。見識を高めるため良い機会となる。
8月、9月実習	各自指定された施設、病院等の実習を 3 か所以上行う。実習の反省をする。
9月1日(土)	各自 8 月に続き実習。「実習のまとめと評価」をする。実践を広く学ぶ。参加者 15 名(うち、新規 3 名)
10月6日(土)	「高齢者のリハビリテーション」の講習。実践を話し合う。参加者 18 名(うち新規 3 名)
11月24日(土)	「認知症ケアのポイント」について講習。認知症サポートの活動を拡げる。参加者 22 名(うち、新規 4 名)
12月15日(土)	「音楽療法的リクリエーション」を脳の活性化を交えて研究。(ゲームを含む)参加者 21 名(うち新規 5 名)
H25年1月、2月	「福祉音楽パートナー」へのテスト用意(筆記テスト、実技テスト)、練習する。
3月2日、16日	ボランティアを深めた「福祉音楽パートナー」の筆記テスト、実技テストを行い評価について考える。4月に結果を発表する。



事業の成果・効果	<p>1. 介護予防の音楽を行うことにより、孤独で家にいた老人も変わってきたとされました。それは、種々の音楽療法により、先ず性格が明るく開放的になり、友人ができて話をするようになりました。これは一大成果だと思います。今後はより多くの人にこの利点を広め、コミュニケーションを高めて老後を楽しく生きてほしいと思います。</p> <p>2. 参加者の感想文より</p> <p>A. 音楽療法は単なるリクレーションとは違い、こんなに心を奥深くまで開放し豊かな気分になれるとは知りませんでした。できたらこの研究を続けていきたいと思います。</p> <p>B. 今まで音楽は聞くだけと思っていましたが、OT、PT、ST等の内容もプラスされて、そこに奥深さを感じます。もっと自己啓発をしなくてはと思います。</p> <p>C. 毎月大変有意義な講義で、私の知らない世界だったので、とても充実した時間です。手話や手遊びも楽しみながら脳の活性化にもなり、介護予防になり良い勉強をしました。</p> <p>D. 先生の一言一言で利用者の表情や動作が変化していくのが不思議でたまりません。私も母の介護のため、もっともっと研究していくつもりです。教えてください、頑張ります。</p> <p>E. 世の中にこの音楽の仕事で役に立っていく事ができたら最高です。ずっと勉強しますのでよろしくをお願いします。</p> <p>3. 音楽療法の有効性を少しずつ理解され、地域への出前音楽療法・出張音楽療法の機会が多くなってきました。</p> <p>市民への普及は、一番良い方法です。頑張ります。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1ほとんど同じ ②多少の変更があった 3大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 「お知らせ」として発送した印刷物が好評にて毎月発送したので、この紙代、印刷代が意外に多くかかった。しかし大分あちこち節約したので今年度は普及に力を入れたい。
	その他、評価すべき点等	感想文やアンケートにもありましたが、利用者様（施設、病院）や活用している本人、家族に有効性があるので、更に進めていきたいと、参加者からの事業継続の声は多いです。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>1. 介護予防の音楽（高齢者の音楽療法）の有効性とは次の4つに効果を求めています。</p> <p>(1) 健康保持と疾病や障害の予防 (2) 心身の機能改善 (3) Quality of Lifeの向上 (4) 治療プロセスの実践（医学における）です。</p> <p>2. 高齢者、障害者（児童）の人達が、人生を楽しく明るく過ごせるように、この音楽療法を通して広めていきたいと思っています。そのためにも、もっと一般の人に理解していただけるように、出前音楽療法、出張音楽療法の方法を行います。</p> <p>3. 後継者の養成（「福祉音楽プレイヤー」）を行い、事業の発展に全力、努力していきたいと思っています。</p>
---------	---

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	里親子と地域支援者との宿泊体験事業		
団体名	里親ひろば ほいっぶ八王子		
事業費	724,844円	補助金額	355,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

目的

突然親子となった里親家庭を、地域で支える仕組みは未だ十分ではない中、支援されることを待つだけの里親ではなく、どのような支援の在り方が望ましいのかを地域の関係者と共に里親子特有の問題について語り合い、解決策について模索し今後の支援の在り方を見つけ出したい。

内容

里親家庭の子どもと、地域の支援的立場の方々和二泊三日の共同生活を通して見えてくることをヒントに今後の里親子支援の在り方を見つけ出すための宿泊体験事業を行う。日常の家庭の枠から地域の枠に広がって、子ども同士も親しくなりお互いの家庭が助け合える関係に発展することを目指したい。

事業の活動実績	第一日目
	第二日目
	第三日目

第一日目 8月10日(金)茨城県竜ヶ崎市のASOハウスに12時集合 総勢41人

始まりの会で 自己紹介子供たちも自己紹介カードを作ったりして親しくなる

第1回研修 カナダで社会的養護を学んだ臨床発達心理士 上村広樹先生のお話。

第2回研修 里子OBイガちゃんの思いを聞き、意見交換に中高生も熱心に聞いた。

夕飯はリーダーすすむ君、担当里母連でカレーとサラダ。後片付け全員その後畑で花火大会

第二日目 11日(土)朝食は「ブレッドバイキングとサラダ」。

第3回研修 こども教育宝仙大学講師前田信一先生の「杉並里親傷害致死事件判決を通して考える」と題して、里親支援の重要性について学ぶ。ネパールに行った高校生二人からの報告会もあり昼食はリーダーひろき君担当里父連と皆で焼きそば作り。その後、畑の倉庫を拠点に種まき班・ザリガニ釣り班・バルーン創作 班と、思い思いの あそびに熱中していた。

第4回研修 すし職人の白戸さんご夫妻ご指導の下、弟子入りした子供たちによる体験寿司作りショーで、会食し、一層仲良く交流した。

第5回研修 NPO法人八王子子ども劇場 理事長 浅野里恵子さんから「子育て支援の『地域ネットワーク』の今!?!という、子供の課題を里親も地域で、対等な関係で考えていきましょう。と今後の課題を具体的に聞くことができた。

第三日目 12日(日)朝食は「ごはん みそ汁 おつけ物」里母担当

第6回研修最終 臨床心理士 大神田恵子先生から「家族は感情のるつぼ」である。養育の行き詰まりを切り抜ける際の大切な手立ては、一人で抱え込まないこと。家族の力を信じて、気持ちのやり取りをたくさん行うこと。仲間との共有が大事。高校生リーダーのもと、子供たちも皆でアンケートを書き、お弁当を持って解散する家族、残る家族で計画をすべて完了した。



事業の成果・効果	<p>「杉並里親傷害致死事件」の実刑判決が出た、里親制度が後退してもおかしくない厳しい状況であると感じる。私たちは、そのさ中、この市民企画事業を通して、子育てを、里親一人で抱え込むことを避けよう、地域で、「困ったときに、助けて」といえる関係をたくさん作ろうと実感することができた。こんな厳しい時だからこそ、自分の限界を認める勇気を持つ。恥ずかしいことではない。と二泊三日共同生活をする中で、語り合い関係の基礎を築きあった。</p> <p>大人たちだけではない、子供たちも「里子は自分一人ではない、あの子もこの子もそうなんだ、と緊張が解けた表情で交流をする姿があちこちで見かけられた。今回は「お母さんと一緒にないと眠れない」と恥ずかしそうに言っていた中学生も、次は一人でお泊りできそうな感じがした。逆に、「中学生になっても、こんなに甘えていいんだ」と帰宅後、今までにない甘える姿が見られたと、うれしそうに話す里母もいた。</p> <p>準備段階では渋々集まっていた子供たちも、帰京後は自分の役割や意見をもって集まるようになった。月に一度、幼児さんも「ニコニコ、わくわく・ほいっぶジュニア」に集まって活動している。予想以上の効果が出ている。</p> <p>また、留守番をしていた大学生の実子さんがこの一連の活動を見て、「八王子市もいいことしてるね！すごいね。」と言ってくれた。とうれしそうに話す里母の声も聴いた。</p> <p>また、里親支援機関も次は親と子が離れて宿泊するプログラムを立てようと計画が始まっている。効果抜群のこの事業を実行できたことを関係者はみな喜んでいる。ボランティアの学生さんも皆よく理解してくれ、学んだと思う。やっとなり親の次の課題「原則里子18歳で措置解除」になる子供たちのことについて地域で語り合う段階に発展できそうだ。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 参加者30人の予定で計画したが、41人となり収入が10万5,000円多くなった。予定していた寄付金はなかったので事業費収入が76万円に変更になった。
	その他、評価すべき点等	(財) こども未来財団 発行の「こども未来 第2号」のP2に「子育て支援・最前線！」地域で生きる里親たちの活動として記事掲載された。また、子供たちが自主的に活動し始め、今や月例行事を実行している。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

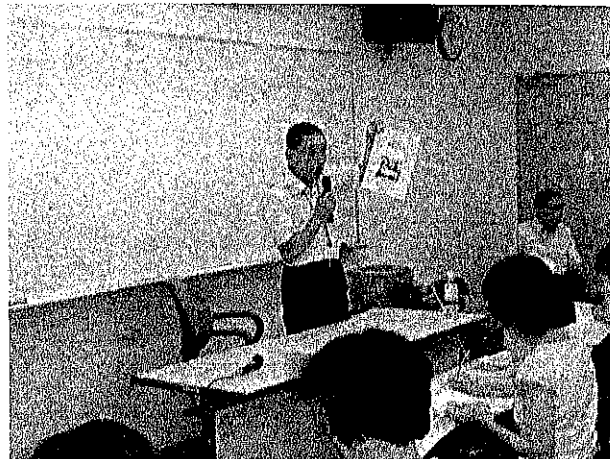
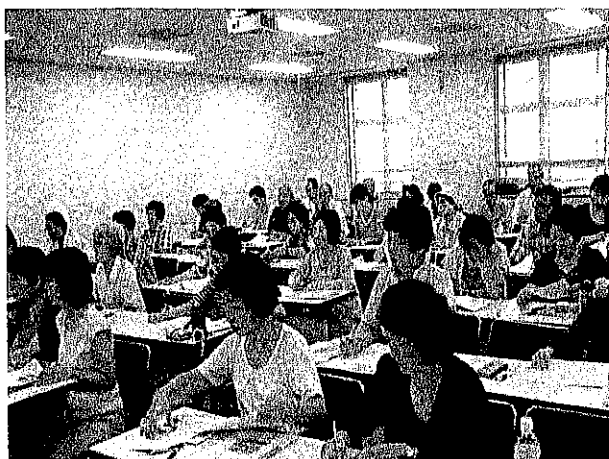
今後の事業展開	<p>今回、里親が主体となって企画した事業が地域の支援機関と十分協働できたこと。その結果今まで家庭と学校との人間関係が主であった子供たち(里親も)が、地域とのつながりの大切さを感じられた様子である。この事業が終わってからも、子どもたちが、毎月一回行事を行い共通の思いを語り合い、食事やおやつ作りをしたり、野外活動をして、幼児から高校生まで一緒になって、解決していこうという方向に動いている。この様子は某テレビ局が取材を続けているのでそれを見ながら、新たな問題を里親、支援機関、子供たちがそれぞれ見つけ出し解決に向かえるように今後も展開していきたい。</p>
---------	--

平成 24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	マイノート推進事業		
団体名	多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会		
事業費	217,177円	補助金額	85,000円

事業の目的・内容	目的：高齢者が残された人生に対して、健康、生きがいやまさかの事態の対処方法、医療、介護施設などで適正な扱いを受けるためのデータをマイノートに記載して保管して、有意義な人生と生活が得られる。本人の突然の思考・判断能力低下によりその意思が葬られたり、本人の意思が明確でないことで親族に争いなどが生じないように、本人の意思の尊重と紛争防止を目的とする。
	内容：マイノートの書き方講座を開きその有効性を検証する。 マイノートは元気なときに、要介護になった時に自分の意思希望を伝えるもので講座では (part1) マイノートの必要性 (在宅介護の経験談より) -延命治療、在宅介護の課題など (part2) エンディングノートとの違い、私の記録、家系図、介護が必要となった時にどうしたら良いか、終末医療、マイノート書き方実習を行った。

事業の活動実績	(平成24年)
	7月6日 マイノート講師養成講座― (テキスト開発者：三津井氏より、ポイント説明) *内部スタッフ向けの研修
	8月28日 第一回マイノート講座 (於：八王子クリエイトホール) 13:30-16:30 講師①海江田規久子 ②三津井博昭 募集40名 申し込み47名 参加者38名
	11月28日 第二回マイノート講座 (於：八王子市クリエイトホール) 13:30-16:30 講師①溝口雅子 ②三津井博昭 募集30名 申し込み39名 参加者35名
	(平成25年)
	2月18日 第三回マイノート講座 (於：八王子市クリエイトホール) 13:30-16:30 講師①溝口雅子 ②橋本登 募集30名 申し込み30名 参加者30名 *事業計画どおり3回開催し、募集100名に対し参加者103名であった。



事業の成果・効果	<p>事業成果と効果について</p> <p>① 3回の講座開催で目標である100名を越える集客ができた</p> <p>② チラシ配布（各回約2000枚）と公報中心で効果的な集客ができた</p> <p>③ アンケート結果Ⅰ—誰でも介護を受ける時が来る。その事実を正しく認識することと心身共に健康なときに自分のことを詳しく、自分史や趣味、好きな食べ物、延命治療への考え方などをマイノートに記録して残し、家族、医師や介護士など介護支援をしてくれる人たちに公開してみせるといふマイノートの理念は70%の参加者から支持された。</p> <p>④ アンケート結果Ⅱ</p> <p>痴呆や嚥下障害などへの対応や介護について家族で話し合いが必要と思った。</p> <p>現在介護中でいろいろ参考になった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	予想以上の出席者と反応があった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>次年度も継続して事業推進を図る。次年度はローカルでの少人数での会合等でのこまめな展開を考えており、もっと気軽に、講座の時間も短縮を考えるつもりである。次年度以降は自立を考える。</p>
---------	---

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子陵南公園さくら祭り		
団体名	特定非営利活動法人 八王子さくらの会		
事業費	1,471,115 円	補助金額	472,000 円

事業の目的・内容	目的
	内容

世界一のサクラ保存林のある八王子に私たちは住んでおります。多摩森林科学園や都立陵南公園及び南浅川沿いのさくら並木を含め 約 2,300 本の桜が咲き誇ります。この景観を多くの皆様に周知し同時に、さくら祭りを通して自然環境・観光・産業・伝統文化など八王子の隠れたポテンシャルを発信したいと、趣向も新たに 第4回「八王子陵南公園さくら祭り」を開催しました。

期日前の3月18日は園内と南浅川堤の清掃活動を実施しました。メンバーは会員と地域の住民も友情参加されました。会期は4月6日(金)～8日(日)午前10時から午後7時(8日のみ午後5時)迄。昨年の東日本大震災や天候不順(強風や肌寒さ)と桜の開花遅れなど、懸念材料にも関わらず、来園者数は約10万人と盛況で、さくら並木や名所散策マップの話題性や東京都のホームページ掲載などネット情報の広域化と、ふわふわ寅次郎の遊戯を含め親子で楽しめる子ども広場の人気、更に東北復興支援の為、業者の誘致なども含めた多彩なグルメも大人気でした。地域との連携の為 新聞折込チラシの配布や、地元町会のご理解とご支援を頂きました事に、感謝と御礼を申し添えさせていただきます。

事業の活動実績	期間：平成24年4月6日(金)7日(土)8日(日)午前10時～午後7時(8日のみ午後5時まで)
	来場者：初日 約1.5万人、2日目 約3.5万人 3日目 約5万人 延べ約10万人
	出演者：20団体 子どもから高齢者まで、地元中心プロ・アマ精鋭出演
	熱気球：天候不順でフライト中止
	出店者：40店舗厳選の他、東北復興支援の業者や物産販売など社会的貢献の話題となった
	活動実績：
	1) 環境美化とマナーの徹底 :当会は八王子市公園アドプトの資格を発揮し、南浅川緑地の自然保護と清掃を積極的に実施しており、上述の通り地域住民の協力も得て、会場周辺の事前清掃と会期中の”ごみ持ち帰りセルフ作戦”は既に定着し、祭り後のごみは殆どゼロに等しく、成果を得ている。
	2) 地域との連携：地元町会のご理解とご協力を頂き、ポスターの掲示やチラシ回覧、会場向け備品(テント、テーブル、椅子)も借用させていただいた。
	3) 八王子姫桜(ホシザクラ)の5人娘は、昨年度の入賞者に参加頂き、ご挨拶を頂いた。
	4) 童謡の里「恩方第二小学校(中村雨紅の母校)」の特別ゲスト参加をいただき、「夕焼け小焼け」他子どもたちの合唱に感動の拍手が鳴り響きました。
	5) 祭りのエリアは陵南公園の会場と共に、市庁舎前の鶴巻橋から多摩森林科学園経由高尾駅までのさくら巡りと歴史ロマン探訪マップを作成し、八王子の観光スポットを積極的PRに努めた。
	6) 出店者については、規制対象業者の排除の為事前チェックを徹底し、会場内の安全と安心の為、子ども遊具を含めた災害保険に加入した。更に、警備要員の配置などセキュリティに努めた。



事業の成果・効果	<p>◎ 市民感覚優先と 環境など時代の先鞭</p> <p>① 地域住民の協力や自主参加など、イベントの内容が回を増すごとに充実してきている。</p> <p>② さくらの種類や自然環境などの専門コーナーを開設し、多摩森林科学園及び都立陵南公園の職員による展示発表のご参加をいただいた。</p> <p>③ 伝統芸能（尺八の演奏と琉球古武道の演舞のコラボレーションや、多彩な民謡踊りなど）や親子で楽しむこども広場の開設は 世代を越えたコミュニティに理解と協力が得られた。 こども対策：ふわふわ寅次郎・竹馬・ウサギ広場などは3,000人以上の大人気でした。</p> <p>④ 地元の特産品、東北復興支援店などグルメや展示内容もバラエティに富、完売店も多数あり</p> <p>⑤ 八王子市民活動協議会のご協力を得て、さくら巡りと歴史ロマン探訪マップによる多数の参加者と都心からのバスツアー客など花見ウォーク団体の訪問は内外ファンが広まった証しと認識している。</p> <p>⑥ 祭り会場の「ごみ対策」に関しては、都立小金井公園からも注目され、良い影響を与えている。</p> <p>⑦ 観光と産業振興への波及効果 経済効果（試算） 来場者 10万人× 千円/人 として = 1億円 以上</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>①できた 2 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>①できた 2 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ②多少の変更があった 3大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>天候不順（3日間 強風）の影響で、熱気球の行事が中止となり、業者のリスクが課題。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>桜の開花が遅れ、2～3分咲きでも心配をよそに、祭りファンの定着が実感できた。出店者の完売など、グルメの評判は良く、リピーターが増加している。経費総額に占める 補助金比率は約 28.7%、今後の自立化に目処が立ちました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

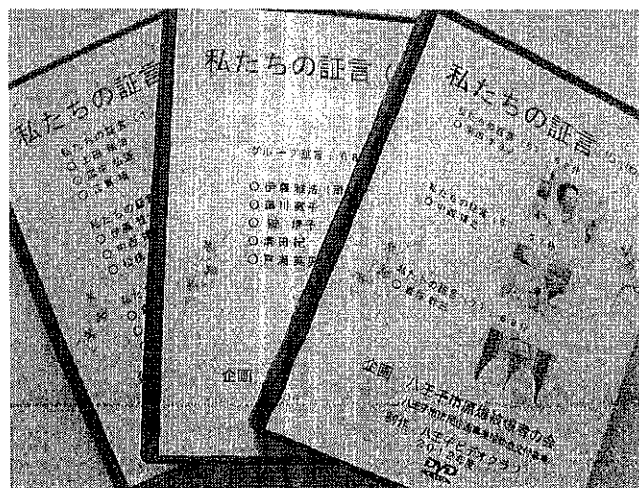
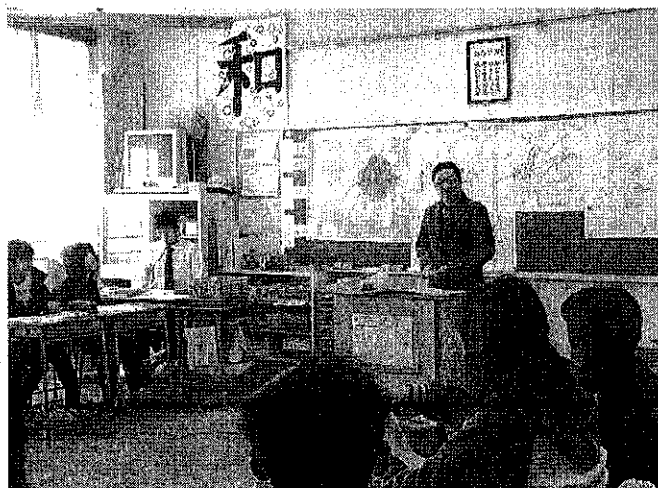
今後の事業展開	<p>夏の八王子祭り、秋のいちよう祭り、に新名物「春の八王子陵南公園さくら祭り」 三大祭りの揃い踏み、地域住民のみならず、都民の財産として継続させる意義を誇りたい。これまでは当会の、自助努力と孤軍奮闘で「祭り主体の企画運営」に挑戦してまいりましたが、地域振興として</p> <p>①浅川地区連合町会や高尾駅界隈及び陵南公園のみならず、浅川流域さくら並木の近隣との共催。</p> <p>②学園都市の若い世代との融合。</p> <p>③出店業者のPRとグルメなど食文化の経営支援</p> <p>④芸能、民芸、自然環境など隠れ財産の公開や 情報交流のイベントも更に充実させたい。</p> <p>⑤八王子姫桜や樹木の保全活動の仲間づくり。</p> <p>次期 第5回の開催は補助金の最終年度のため、物心両面の総仕上げに向け、これまでの成果を活かしたい。</p>
---------	--

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	被爆体験をDVDに収録し後世に		
団体名	八王子市原爆被爆者の会 (八六九会)		
事業費	399,500円	補助金額	199,000円

事業の目的・内容	目的 私たちの体験を伝えることで、平和の大切さ、戦争の悲惨さを深めることができます。しかし、残された時間は多くありません。DVDに収録することで、後世に伝え残したいと思います。
	内容 広島、長崎で被爆した体験を学校などで語っていますが、その様子を収録しています。

事業の活動実績	被爆体験の証言について収録、DVDとして発行。 証言シリーズ 1. 上田、広中、江鳶 2. 伊藤、中西、松枝 3. 森下、渡辺、五藤 上記、1～3の9名の証言を140セット作成し、市内小中学校107校に贈呈した。 証言シリーズ (4巻は団体資料としたため欠番) 5. 米田 6. 中西 7. 岩佐 8. 長崎グループ証言 上記5～7の3名の証言を100セット、8のグループ証言は10セット作成し、広島・長崎原爆資料館、国会図書館、市内図書館などに贈呈した。 平和団体や広く個人に見ていただくために作成した。
---------	---



事業の成果・効果	<p>被爆者の体験を収録していますので、作成したDVDをより多くの方に見ていただくことが第一です。きっと、平和の大切さを実感いただけると思います。</p> <p>また、学校で私たちが被爆体験を話すことがあります。その際に感ずる特徴的なことは、どの学校でも子供たちが真剣に話を聞いてくれることです。始める前に校長先生が「集中しない生徒がいて、少し心配」と話されることもあります。全くそのような経験はありません。逆に、集中して聞いている生徒の姿を見て、先生が新たな発見をされています。</p> <p>もう一つは、後で必ず全生徒から感想文が届きますが、</p> <p>「戦争は絶対にしてはいけない」 「初めて原爆の話聞いた」 「世界から核兵器が無くなるよう」 「平和の大切さが理解できた」 「大人になって平和のために頑張りたい」など、</p> <p>どの子も私たちの想いをしっかりと受け止めてくれることです。</p> <p>私たちにとって、子供たちに話す機会をもらえることが一番の願いで、こんなに嬉しいことはありません。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1. できた <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった <small>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</small>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった <small>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</small>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している <small>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</small> 当初予定していたほど被爆体験を語っていただける方が多くなかったこと。それだけ70年近く経っても心に深いキズがあることを再認識しました。
	その他、評価すべき点等	被爆者自らが、このような取り組みをしている組織は他にはないと思います。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>生きている限り被爆の実相を広め続けること。これは被爆者の使命です。</p>
---------	--

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生涯学習の集いイン南大沢		
団体名	八王子生涯学習コーディネーター会		
事業費	107,136円	補助金額	35,000円

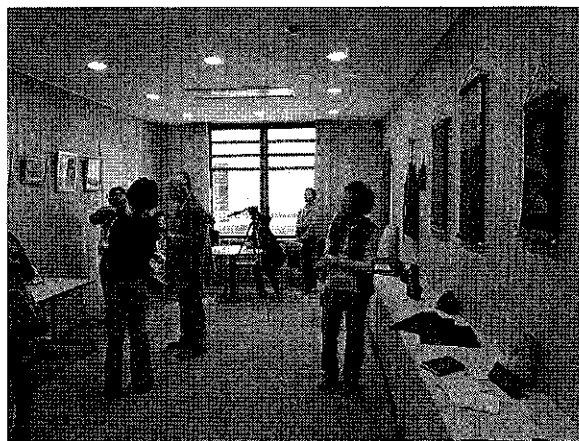
事業の目的・内容	目的 広範に渡る八王子市域において、各地域ごとにきめ細かく活動の展開をはかり、八王子市民の生涯学習を推進、サポートする活動の第2ステージとし、広く市民に生涯学習への参加を呼びかけるチャンスとする。またこの機会を通して夫々の地域の住民組織や市民団体との一層の連携体制を構築することとする。
	内容 南大沢地域の拠点のひとつである八王子市生涯学習センター南大沢分館の各学習室において、地域住民を対象に1日集中方式で「サークルの作品展示」「講演会」「寄せ植え講座」「コサージュ講座」「親子ふれあい広場」ならびに当会の活動実績を示すパネル展示を実施した。

事業の活動実績	「生涯学習の集いイン南大沢」 実施時期 平成25年3月9日(土) 9:00~16:00 実施会場 八王子市生涯学習センター南大沢分館 第1~4学習室、第2創作室、料理講習室、保育室とその周辺ロビー
	実施内容 1. 南大沢地区サークルの作品展示 9:00~16:00 (7時間) 参加者累計 120名 12団体が参加し絵画、書、彫刻、装飾、手芸などの素晴らしい学習成果が展示された。 2. 講演会 (家庭と学校教育の関わり方) 14:00~15:30 (90分) 参加者 40名 元中学校校長を講師に招き保護者のあり方、教師の対応の仕方などについて講演。 3. 寄せ植え教室 14:00~16:00 (120分) 参加者 27名 地元の園芸家を講師に招き多肉植物の寄せ植え方法を実物で学んだ。 4. 親子ふれあい広場：読み聞かせと遊びの紹介 10:30~12:00 (90分) 参加者 10名 5. コサージュ講座：実演指導を2回各30分開催 10:00/13:00 (60分) 参加者 18名 6. 総合案内 当会作成の「生涯学習窓口ガイド」「実践講座選択ガイド」「会の案内」を配布するとともに、当会の活動紹介パネル展示をおこなった。

写真① 寄せ植え教室の実習風景



写真② サークルの作品展示会場



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> * 今回の事業実施によって、南大沢地域での生涯学習推進の大きな手がかりをつかむことが出来た。これまではクリエイトホールを拠点とした市の中心部に集中しがちの活動に対し、より広域的な市内各地域への活動展開のきっかけとなった意義は大きい。 * 「サークルの作品展示」が、今後の地域展開に有効な催しとの実感を得た。 * 課題 今後、継続して実施するためには生涯学習センター南大沢分館との連携を強化することが不可欠である。 新年度のできるだけ早い時期に企画を立て実現に向けて推進していく。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 当初の計画規模より実施内容を拡大したため会場使用料とスタッフの交通費が増加した。ただしトータルでは予算内に収めた。
	その他、評価すべき点等	当初の目的とした地域展開の第2ステージとしては、実施の手ごたえを十分に感じる事ができ、南大沢地域での今後の展開の糸口が得られた。特にサークル団体からは好評で次年度の開催を希望された。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

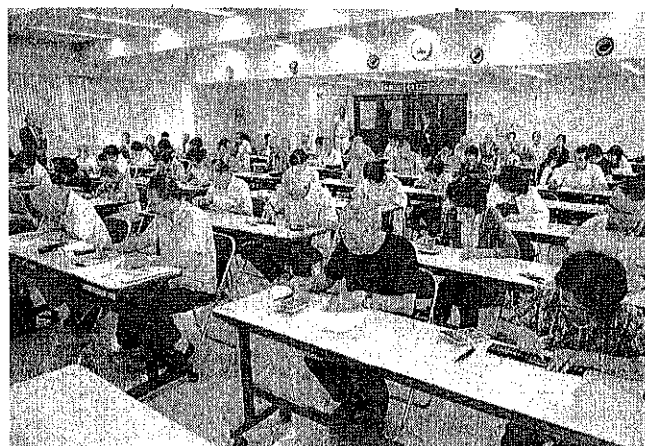
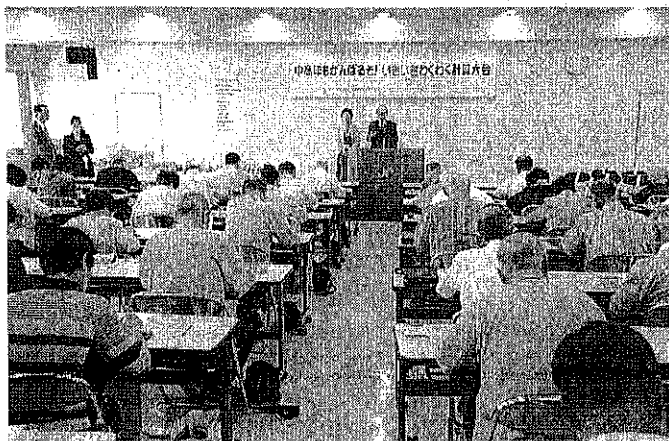
今後の事業展開	<p>今回の実績を踏まえつつ、南大沢地区を重点地域として、今後生涯学習センター南大沢分館と連携して継続して展開をはかることを目指す。また今後さらに各市内の市民センターを拠点とした地域展開の拡大をはかることとしたい。</p>
---------	---

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	いきいき わくわく 計算大会		
団体名	ICA 国際電卓協会		
事業費	192,617円	補助金額	64,000円

事業の目的・内容	目的	中高年の脳の活性化に計算が良いと言われており、計算をを通じて若返りが出来ればよい。 なお、この大会実施により、脳の活性化のため中高年の方が、そろばん・電卓等を学習したい方の支援活動に応援したい。
	内容	中高年（60歳以上）による計算大会 競技方法はそろばん・電卓・筆算など何を使っても、参加可能。 問題内容は見取算・見取暗算・読上算

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1) 開催日時：平成24年9月9日（日）11時~15時 2) 開催場所：八王子商工会議所 4階大会議室（市内大横町11-1） 3) 参加資格：1部60歳~69歳・2部70歳以上 4) 参加費：1000円 5) 参加者：55名（申込56名） 6) 競技内容：①見取算、②見取暗算、③読上算 7) アトラクション：大道芸 8) 抽選会 9) 表彰式 <p>以上の通り、実施された</p>
---------	---



事業の成果・効果

この大会は、今回で6回目、中高年の若返りを目的に開催。参加資格は60歳以上の方で、市内を中心に最高齢86歳の方など55名が参加された。
 そろばん・電卓等を使って、見取算、見取暗算、読上算に挑戦をいたしました。
 第一部(60歳～69歳)優勝者に市長賞が、第二部(70歳以上)優勝者に会頭賞が授与されました。
 各部門の優勝・準優勝は次のとおりです。
 第一部優勝 楠 まり子 氏(市外在住) 準優勝 茅野恵美子 氏(市内在住)
 第二部優勝 川口 鉄雄 氏(市内在住) 準優勝 山田 健三 氏(市内在住)
 中高年の皆さんが、計算を通じ脳の活性化を図るために実施した当大会も6年目を向かえました。
 平成21年から寿段を次のように認定しております。1回目からの参加者に6段、5回目は5段、4回目は4段、3回目は3段、2回目は2段、初参加は初段。
 これにより、嬉しいことに、多くの参加者より大会が楽しみで来年も参加したい、これからも続けて欲しいとの声をいただきました。
 この大会を通じて、中高年のみなさんに元気を与えることが出来た大会であったと自負いたしました。
 なお、今回も八王子市平成24年度市民企画事業補助金から支援をいただき、事業運営の面で、軽減がなされた。
 平成25年度も、アンケートの結果を踏まえ引き続き継続して実施をして行きたい。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	今年も多くの中高年の方々に参加をいただきました。 計算を通じて、人と人の繋がりコミュニケーション図れた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開

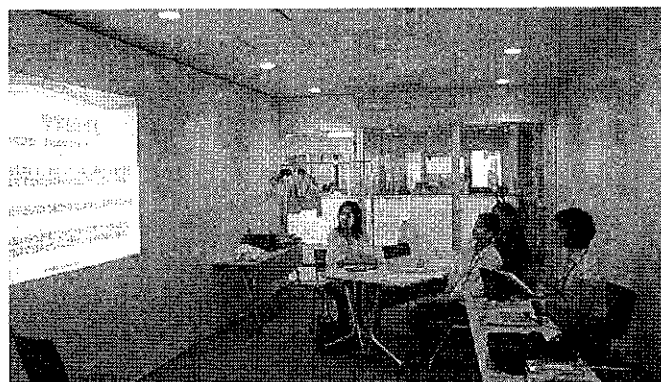
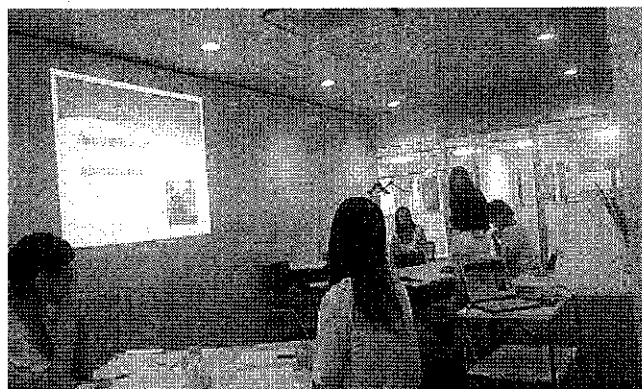
参加者の多くから来年も参加をしたい声に答えるのために市民企画事業として継続をしたい。

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	大人のゼミ		
団体名	f-SHIP		
事業費	353,357円	補助金額	112,000円

事業の目的・内容	目的 八王子の女性のための生涯学習による、自己研鑽の機会の提供。家庭や地域、社会生活で活かせる学びの機会を提供することは、それぞれの持ち場で女性が生き生きと活動することにつながり、ひいては地道な地域活性化となると考えた。
	内容 主に 20 歳後半～50 歳代の女性向けの就業、起業を踏まえた生涯学習と、地域の女性たちの「縁活」プログラム。

事業の活動実績	<p>【大人のゼミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 第一回 9/13 (新規参加者 10 名) 大人のゼミ・キックオフミーティング・カラーとつかって自己紹介&他己紹介 * 第二回 9/20 (新規参加者 4 名) 「再チャレンジのために自分プロデュースしよう」～パラレルキャリアなお手本が教えます～ * 第三回 9/27 (新規参加者 1 名) 心地よく働くためのパートナーシップづくり ～家族、周りの人に応援団になってもらおう!～ * 第四回 10/4 (新規参加者 8 名) 大人のゼミの果実を見える化する～ドリームマップ～ * 第五回 10/18 (新規参加者 2 名) コミュニケーションスキルアップのためのヒケツ * 第六回 11/1 (新規参加者なし) 一歩踏み出すために～自分を表現・仲間と共有～ * 第七回 11/8 (新規参加者なし) 修了の時間・交流会 <p>総参加者数 25 名 (男性 1 名含む)</p> <p>【アフターケア講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 12/20 (参加者 6 名) TC カラーで 2013 年に向けてモチベーションアップ (第一回目講師招待による)



事業の成果・効果	<p>■普段触れ合う機会が少ないと主われる異年齢間の交流(20歳代~50歳代)の場となった。 →20代から50代の幅広い年代が参加した。</p> <p>■女性の学習意欲向上、就業意識が高まった。 →前回ゼミ生の講師登用、自身の仕事づくりの見直し、講師の学習会に参加しステップアップ、講師同士が参加し合ってブラッシュアップ、</p> <p>■ゼミがプラットフォームとなり、人材紹介、仕事づくりなどにつながった。 人材紹介(経営者会紹介、コラボレーション、講師の事業の顧客創造、講師依頼等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者主催の経営者会に受講生が参加するようになるなど相互交流 ・講師主催の資格取得講座に参加し学習を継続するなど、継続的学習の動機付け ・受講生同士イベントに参加し合い、研鑽する動き
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について、	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 計画の段階と実際とで少々差が出た。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

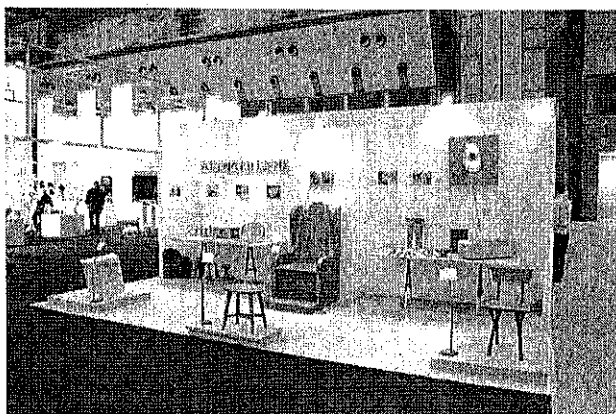
今後の事業展開	<p>大人ゼミをフロントエンドに据え、女性の身の丈起業のブランディング、メンター事業、交流会事業等を展開し始めた。更に貢献できるよう本格的に構築していく考えである。</p>
---------	--

平成 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

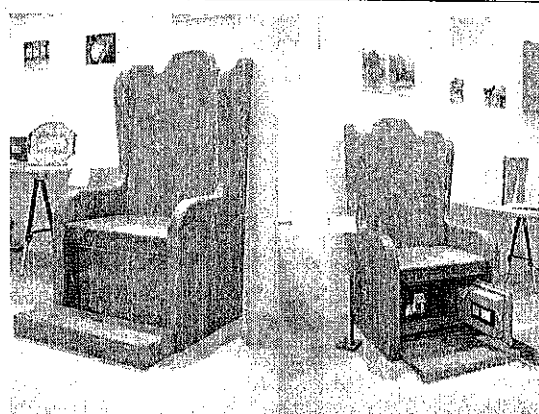
事業名	八王子現代家具工芸学校		
団体名	家具のまち八王子		
事業費	2,936,311 円	補助金額	480,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>現在、日本には家具のデザインと製作を学べる場所が非常に少ないです。更に家具製作は難しいと感じ、興味を持っている人もどのように始めて良いか悩んでいる人もおります。家具製作のできる設備を揃えば誰にでも家具作りはできると感じておりましたので、男女問わず色々な世代の方に気軽に家具作りを学べる学校を開校しました。</p> <p>売るだけの家具のまち八王子ではなく、学べる家具のまち八王子を目指しております。</p>
	<p>内容</p> <p>木製家具製作に必要な考え方(デザイン)とカンナやノミなどの手道具の技術習得と大型・小型木工機械の扱い方などを習得し、プロを目指す人から趣味の人までが本格的な家具デザインと製作を学べる学校です。</p>

事業の活動実績	<p>24年度は新しく基礎入門コースに9名の生徒が入り、クラフトマンシップ家具デザインコースにも1名新しく入りました。中には88歳の生徒も入ってきました。1日体験コースも作りました。</p> <p>5月のゴールデンウィークと9月のシルバーウィークに村内ファニチャー内で、11月のいちよう祭りにて無料体験のお箸作りのイベントを行いました。</p> <p>5月にはフランス人の婦人会の団体、10月にはインターナショナル婦人会の団体がお箸作りの体験をいたしました。</p> <p>3月には鹿島団地の老人会に出張でお箸作り体験をいたしました。</p> <p>10月には東京ビックサイトで行われる国際家具見本市IFFTに学校のブースとして出展。</p> <p>11月に昭島で行われたリビング多摩アート&ライフマーケットに出展。</p> <p>2月には毎年行っている村内ファニチャー内で学校の展示会を行いました。</p> <p>3月に南多摩福祉機器展に出展。</p> <p>授業は土曜日、月曜日、火曜日、水曜日の10時から17時までやっております。</p> <p>学校として多摩産材を使った商品開発作りもしております。</p>
---------	---



IFFT国際家具見本市にて学校ブース



倒木したケヤキで作った金庫椅子

事業の成果・効果	<p>昨年度より立ち上げた年間コースのクラフトマンシップ家具デザインコース第2期生として、一人生徒が入りました。1期生の生徒にはインターンシップとして2か月間家具づくりの現場で働くこともできました。</p> <p>展示会では小物が少しずつ売れるようになってきました。</p> <p>生徒も多摩地域以外の静岡・群馬などからも来るようになりました。</p> <p>村内ファニチャー内やいちょう祭りでのお箸作りのイベントでは3年目ということもあり、毎年楽しみにやってくる人もおりました。</p> <p>今年は2つの外国人の婦人会の団体から依頼されてお箸作り体験をしました。両団体とも午前中は学校でお箸作り、午後は村内美術館で美術鑑賞というコースで1日八王子の美術・工芸を楽しんでもらえました。</p> <p>現在生徒は20歳から88歳までと色々な世代の人たちが学んでおります。</p> <p>八王子在住の生徒が八王子市内で倒木したケヤキを使って椅子を制作いたしました。まさにメイドイン八王子の物づくりです。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>予想より多くの生徒が集まり、また趣味ではなく本業として学びたい生徒も前年度より増え、それに伴いさらなる設備や授業などの充実を目指したため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>昨年度よりさらに作品のクオリティが上がり一般の人から同業者まで高い評価を得られました。少しずつではありますが作品が売れたり、注文が来たりしています。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>継続した生徒の確保。また現在行っている多摩産材での商品開発を商品販売の方向に向け、その商品制作を学校の卒業生ができるような仕組み作り。地産地消の家具作りができる環境にありますので、それを生かし地域とともに成長していければと思っております</p>
---------	---

6 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日 平成25年6月8日(土) 成果報告会にて
 対象 成果報告会に来場された方
 内容 各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	みなみ野シティふるさと展
団体名	八王子市由井市民センターみなみ野分館「ふるさと資料室」運営委員会 事業成果報告の記載ページ P 8

- ・ どんぐりのアイデアがおもしろい。広報活動をよく、やられていた事がわかった。パワーポイントの文字がもう少し大きいとよろしいのではないか。(20代女性)
- ・ 地域の歴史文化を大切に残し、伝えていくのはとても意義深いことで、プログラムの更なる充実と継続を頑張ってほしい。(30代女性)
- ・ 同じみなみ野分館を拠点としている活動で、チャイルドライフの運営するベルテールの子供たちも展示を拝見しました。みなみ野の歴史をアピールするよい企画だと思います。(40代男性)

事業名	NP プログラムで自分らしい子育てを探そう
団体名	若葉 事業成果報告の記載ページ P 10

- ・ 活動の手順など、順を追って説明されていたので、とてもわかりやすかった。写真も人の表情が良くわかった。今後の発展もふまえた報告は、今後の活動にも大いにつながるものであると思う。(20代女性)
- ・ 共働き家庭、一人っ子家庭、昔と違った母親の悩みは複雑化していると思われる。健全な子供が育っていくためには、まず母が健康であることが必然。このプログラムで救われた母親たち、子供たちは非常に多いと感じた。(30代女性)
- ・ 親の子供に対する接し方の重要性を意識した事業だと思いました。子育てのストレスをなくし、親が本当の意味で親になるために、必要な企画だと思います。(40代女性)

事業名	八王子のゆるキャラを作ろう会
団体名	八王子のゆるキャラを作ろう会 事業成果報告の記載ページ P 12

- ・ 実際にゆるキャラが登場し、インパクトがあった。(20代女性)
- ・ 地元の代名詞になり得る、マスコットキャラクターの順調な成長ぶりは、地元の人間として嬉しい限りです。(30代女性)
- ・ 他の地域の人気キャラにもひけをとらない、質の高いキャラ活動ができていると思う。(40代男性)

事業名	子連れ参加OK！「子どもとの絆を深め関係を崩さずに子どもの自立が育める関わり方」～家族みんながHAPPYになれる育児法～ 講演会	
団体名	ママカフェサークル	事業成果報告の記載ページ P14

- ・ まず、ママカフェサークルという名前が良いと思った。かたくならず、皆、参加しやすいのではないかと。悩みを抱えた親御さん同士が、意見を交換できる心強い場であると思う。(20代女性)
- ・ 共働き家庭、一人っ子家庭、昔と違った母親の悩みは複雑化していると思われる。健全な子供が育っていくためには、まず母が健康であることが必然。このプログラムで救われた母親たち、子供たちは非常に多いと感じた。(30代女性)
- ・ 内容が少し難しかったですが、子育てを真正面からテーマとして捉えて、活動していることが、わかります。(40代男性)

事業名	シニアが元気になるフェスティバル	
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会	事業成果報告の記載ページ P16

- ・ シニア世代になると、特に同年代での集まり、ワクワクの共有というものは、心身の活性化充実につながると思う。(20代女性)
- ・ フェスティバルが、大盛況だった様子、観客、会員ともに、とても満足感があるイベントであることが、報告から良く伝わってきた。(30代女性)
- ・ シニアが、元気に楽しみながら活動に取り組んでいる様子が、伝わってきました。(40代男性)

事業名	わくわくキッズ料理教室	
団体名	八王子地域活動栄養士会	事業成果報告の記載ページ P18

- ・ 生涯にわたって、重要である「食」というテーマについて、小さな頃から学び、自ら作るという経験は、「食」に関心を持つという点で大切であると思う。(20代女性)
- ・ “3食コンビニ食”の人も増えてしまっている昨今、子供のうちに正しい食に対する知識と、手作りのありがたみ、大切さを身につけていけるのは、とても素晴らしいと思います。(30代女性)
- ・ 子供たちが、楽しい体験を通じ、企画の目的であるバランスの良い食事について意識する効果が、よくわかりました。(40代男性)

事業名	DV被害者や女性であるが故に問題を抱える女性の支援	
団体名	いっぽの会	事業成果報告の記載ページ P22

- ・ ドメスティックバイオレンスというのは、非常に深刻な問題であり、なかなか相談する事が難しいと思う。参加者が増加傾向にあるという事で、深刻性のあるこの事業の重要度は大きい。今後も、チラシ等において、この事業を広めてほしいと思う。(20代女性)
- ・ まさか、そのようなことが現実には起きているとは、という社会の陰に隠された、人々の苦しみを救済できる、とてもありがたく意義深い活動であると思った。(30代女性)
- ・ プライバシーの問題で具体的な話が少ないため、どのような活動だったのか、イメージがわきませんでした。(40代男性)

事業名	子育てママのための学び場〈一歩踏み出して未来の私につながろう〉		
団体名	グランジュッテ	事業成果報告の記載ページ	P 24

- ・ パワーポイントの文字をもう少し大きくすると良い。(20代女性)
- ・ 母を元気にする素敵な企画。是非、継続を。(30代女性)
- ・ 【若葉】【ママカフェサークル】と同様の感想をもちました。この活動も、たいへん意味があると思いました。親のための企画なので、もう少し子供が参加する活動が、選ばれても良いような気がします。(40代男性)

事業名	第5回八王子さくら祭り		
団体名	特定非営利活動法人 八王子是市民の会	事業成果報告の記載ページ	P 26

- ・ 説明と写真など、もう少しし致させたら良いかと思う。(20代女性)
- ・ 八王子を愛し、活性化に知恵とエネルギーを尽くしている様子が、よく伝わってきた。(30代女性)
- ・ お祭りなのか、川の美化なのか、テーマが絞り切れていない印象を受けました。(40代男性)

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会-未来	事業成果報告の記載ページ	P 28

- ・ 予算の関係もあると思うが、親子の絆を深めるという点に関しては、活動と活動の間を、もう少し短くしても良いかと思った。(20代女性)
- ・ 社会的弱者とも言える方々への援助と考えた時、行政の援助というのは、世の中を明るく、平和にしていける大切なことだと感じた。(30代女性)
- ・ 子供の、発達障害の問題に取り組む団体として、親近感と共感を感じました。このような直接支援の取り組みは非常に重要だと思います。機会があれば、協力して活動できたら感じました。(40代男性)

事業名	楽しい介護予防の音楽セミナー		
団体名	八王子音楽療法研究会	事業成果報告の記載ページ	P 32

- ・ 8分間の、時間をもっと有効に活用してほしいと思った。また、もし、皆に歌ってほしいのならば、「ふるさと」などの一般に知られた曲の方が良いかと思う。または、舞台にいる3人の1人は、より率先して歌をリードした方が良い。実際の活動が少し不安。(20代女性)
- ・ 報告としては、少し不思議な内容であったが、事業の中身は意味深いものであるのだろうと推測する。(30代女性)
- ・ 成果報告なので、補助金はどう使われたのか、参加者の感想等、きちんと報告する方が良いと思う。休憩時間に音楽発表にした方が良いのでは。(40代女性)
- ・ 音を楽しむのは良いのだが、歌力等のパワー不足。もっと、頑張してほしい。(60代男性)

(2) 成果報告会についての主なご意見・ご感想

- ・ どのグループも意欲的な発表でしたが、私自身、昨日のショッパーでこの会を知り、来年度のことであろうかと都合をつけて、やっと参加しました。もっと早くに知っていたら、他の方々にも参加してもらえたのに・・・と思いました。現在、補助金をうけている団体には、せめて知らせてほしいと思いました。(70代女性)
- ・ 写真が多く使われていたので、イメージがつかみやすい報告会でした。(40代男性)

(3) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ 特にありませんが、八王子市ならではの、ユニークな取り組みだと思います。(40代男性)

7 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	宇津木台 森遊会	金森 巖	金森 巖	神奈川県横浜市青葉区奈良2-10-5	045-961-6695
	八王子市由井市民センターみなみ野分館「ふるさと資料室」運営委員会	糠信 富雄	山岸 彰雄	八王子市小比企町2901-2	090-4739-5700
	若葉	石渡 ひかる	石渡 ひかる	八王子市元横山町3-1-6	042-646-4616
	八王子のゆるキャラを作ろう会	大石 隆元	大石 隆元	八王子市滝山町2-665	042-691-6263
	ママカフェサークル	阿部 慶子	阿部 慶子	八王子市東浅川町709-6	080-4814-4226
	八王子高齢者活動コーディネーター会	清水 正健	渡辺 重男	八王子市松木40-13	090-4934-8707
	八王子地域活動栄養士会	峯尾 きよみ	内山 菜穂恵	八王子市狭間町1462-5 タウンス八王子A-910	042-661-3605
	特定非営利活動法人 Pulemyu(ぷれみゅ)れみゅ	永井 美知	永井 美知	八王子市館町598	042-657-6834
	いっほの会	小口 三恵子	小口 三恵子	八王子市富士見町35-5	042-642-4096
	グランジュッテ	坂元 孝子	滝川 友紀子	八王子市台町3-6-1-805	042-628-0146
事業実施	特定非営利活動法人 八王子是市民の会	榎本 邦美	榎本 邦美	八王子市平岡町30-2	042-622-0263
	特定非営利活動法人 発達支援の会-未来	坂元 恵子	前田 早百合	八王子市狭間町1800-162	042-667-0373
	八王子親と子の良い映画を見る会	井口 省司	井口 省司	日野市栄町3-1-36	042-585-0475
	八王子音楽療法研究会	新井 幹	新井 幹	八王子市めじろ台2-18-6	042-664-6357
	里親ひろば ほいっぷ八王子	坂本 洋子	山室 恵子	八王子市元八王子町2-3336-9	042-665-9279
	多摩健康生きがいつくりアドバイザー協議会	杉原 義得	杉原 義得	八王子市榎原町1080	042-625-8217
	特定非営利活動法人 八王子さくらの会	仁部 英二	松本 八郎	八王子市川口町3939-5	042-654-2822
	八王子市原爆被爆者の会(八六九会)	伊藤 雅浩	上田 絃治	八王子市鎌水2-81-2-1-908	042-675-6257
	八王子生涯学習コーディネーター会	間宮 章	進藤 丕	八王子市元八王子町1-242-29	042-663-0068
	ICA国際電卓協会	高木 早苗	巻田 浩行	八王子市大横町11-1 八王子商工会議所内	042-623-6311
	f-SHIP	石黒 理紗	石黒 理紗	八王子市城山手1-26-21	090-3236-9478
家具のまち八王子	村内 弘道	伊藤 洋平	八王子市左入町787 櫛村内ファニチャーアクセス内 西側ログハウス	090-4243-0506	

平成24年度
市民企画事業補助金
成果報告書



平成25年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/index.html>

